

Ver.1.1 作成日：2026 年 7 月 8 日

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	細胞診検体における肺癌組織型推定決定に有用な細胞学的所見の検討
	研究対象者	神奈川県立がんセンターで、2020 年 1 月-2024 年 8 月に気管支内視鏡 検査で組織と細胞を同時に採取した 200 症例
	研究目的	肺癌の治療選択においてバイオマーカー検査が行われるようになり、 小細胞癌と非小細胞癌の鑑別に加え、腺癌と扁平上皮癌の鑑別が重要 になっている。細胞診で腺癌と扁平上皮癌を鑑別するうえで重要とな る細胞所見を再検討し、鑑別が難しい症例においてどの所見が有用で あるかを解析し、今後の診断に役立てたい。
	研究方法	病理システムを利用し、診断名を検索。対象症例を抽出し、細胞像につ いて後方的に検討を行う。
	個人情報保護	病理検査室でつけた検体番号を使用し、院外では個人を特定できないよ うにします。
	研究期間	西 暦 2025 年 1 月 6 日 ～ 西 暦 2028 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開 始する時期	[_]総長が研究実施を許可した日 [X] 西暦 2024 年 12 月 1 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・ 情報の項目（チェ ック[X]が入った項 目を利用します）	[X]試料:	[_]血漿、[_]血清、[_]全血、[_]末梢血から抽出した DNA、 [X]病理検体(具体的に記載: 呼吸器細胞診検体) [_]尿、[_]糞便、[_]唾液、[_]胸水、[_]腹水、[_]脳脊髄液、 [_]毛髪、[_]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[_] 生年月日、 [_]性別、[_]既往歴、[_]併存疾患、[_]外来日・入院日・退院日、[_] 臨床検査値、[_]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [_]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[_] ゲノムデータ、[_] 看護記録、[_] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利 用する者の範囲	当センター研究責 任者	所属・氏名 病理診断科 酒井 麻衣
	共同研究機関および 責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公 開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先 氏名：酒井 麻衣 ・連絡先：045-520-2222 （内 3624）